

製品名: PPY マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81197**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	10.4kDa

抗原情報

遺伝子名	PPY
別名	PNP
遺伝子 ID	5539.0
SwissProt ID	P01298
免疫原	大腸菌で発現したヒト PPY (AA: 1-95) の精製組換え断片。

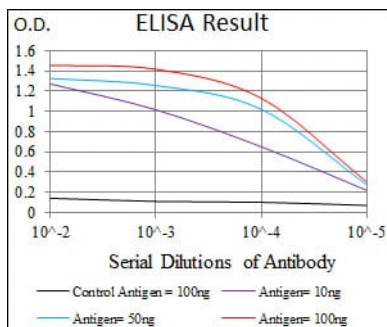
背景

この遺伝子は NPY ファミリーに属し、膵臓ランゲルハンス島で 95 アミノ酸のポリペプチド前駆体として合成されるタンパク質をコードしています。この遺伝子は 2 つのペプチド産物、すなわち 36 アミノ酸の活性ホルモンと機能不明のイコサペプチドに分解され

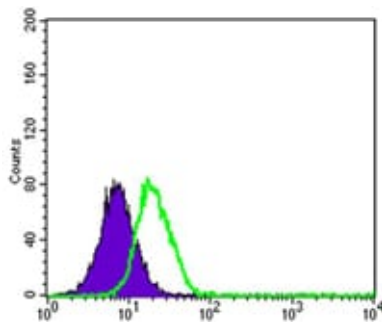
ます。このホルモンは膵臓および消化管機能の調節因子として作用し、摂食量の調節に重要な役割を果たす可能性があります。このホルモンの血漿中濃度は、摂食量の増加に関連する疾患では低下し、神経性食欲不振症では上昇することが示されています。さらに、肥満げっ歯類にこのホルモンを注入すると、体重増加が減少することが示されています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



PPY マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。